



QRコードを読み取り、令和元年9月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。



つじむら たける
辻村 岳瑠 議員
(政経会)

伝統・文化で明るく輝くまちづくりについて

問 市の総合計画には「本市の魅力を発信し、地域の魅力向上とにぎわいに資する空間を創出する」とある。伝統文化を次の世代に受け渡す伝承が重要だと考えるが、市の考えについて伺う。

市長 富士宮市にはいろいろな文化があり、様々な人たちの生きざま、生活のありようが文化としてある。やはり先人が残してくれたものをしっかりと後世に伝えていくことが大事なことだと考え、歴史館をつくりたいと思っている。まずは、市民の皆様に富士宮の歴史を知っていただく、同時にあちこちから富士宮市に訪れるきっかけ、観光にもつながり、ひいては富士宮の活性化につながる。

問 宮町の空き店舗をハブ的に活用し、そこを歴

史館のような位置付けとし、歴史文化観光などの情報発信地とすることを提案する。

市長 空き店舗は空き店舗で、中心市街地の活性化として活かし、活用していく。歴史館は本当に北部地域の活性化のための拠点となるような、いろんな人が来て驚く、そういうものにしていきたいと思っている。

スポーツで明るく輝くまちづくりについて

問 平成27年富士宮サッカー協会から要望書が提出され、市では多目的スポーツ広場の調査を実施しているが、その進捗状況について。

市長 要望に対してしっかりと受け止めているが、法規制などがあり、難しいということもある。当局の悩み苦しみをご理解いただきたい。今検討している最中であり、適地があればすぐにもやりたい。具体的になるよう前向きに今取り組んでいる。サッカー場だけは、早いうちにつくっていききたいと、そういう思いは今も変わりはない。



さの あつし
佐野 孜 議員
(富岳会)

体験観光の開発と地域経済の発展計画

問 ①牧場の体験学習について ②北部の各行事への支援について

部長 ①平成30年度は、教育機関、民間団体等で、300団体1万7千人近くが酪農体験に参加。静岡県グリーンツーリズム協会や酪農体験組合に情報を提供し、受け入れや市内外からの参加呼びかけ等、本事業を推進している。

市長 酪農を魅力あるものにしていきたい。

部長 ②北部の各行事については、農村文化伝承を通じた農村コミュニティ強化を目的とした静岡県の多面的機能支払交付金の支援を得てる。各地区に継承の伝統的な行事は、実態調査を進め無形文化財や歩く博物館を入れ込む。

富士宮市の特産物の開発と現状の支援

問 ①国際機関で最高賞を受賞した乳製品

②富士山雪解け水で育てたニジマスの需要は

部長 ①世界に通じる食品である証であり、世界に認められた商品を製造している生産者がいるため、市内外へ情報を提供し、販路拡大に努める。 ②ニジマス扱う業者は20店舗ほどあり、特にブランド化した「紅富士」の多様な料理法とおいしさを更にPRしていく。

学校教育環境の整備の取り組み

問 ①夏休み中の教職員の参加行事について

②夏休み中の児童生徒の参加行事について

③二学期に向けての指針と展望について

教育長 ①管理職が対象の研修、教科や学習の研修、資料作成の為の研修、生徒指導に関する研修など12の研修行事を行った。令和2年度は5つの研修会を削減する方針。 ②補講は小学校7校、中学校11校。プールの開放は小学校14校、中学校はなし。その他各種団体の主催する行事があった。 ③一学期の学校評価を参考に教育活動を見直し、子どもたちに資質、能力を効果的に身につけさせるよう取り組んでいきたい。